

百日咳に注意しましょう！！

1. 百日咳の特徴

- ・ 百日咳菌の感染により起こります。
- ・ 患者さんの咳(飛沫)や汚染した手指(接触)から感染します。
- ・ 小児期に3種混合ワクチン(DPT ワクチン)を4回(初回:3回、追加:1回)接種していれば抵抗力があり、感染する可能性は低いです(母子手帳を確認しましょう。)

2. 百日咳の症状

- ・ 感染してから7～10日に発症します。
- ・ かぜの様な症状から始まり、咳が長く(6～8週間)続きます。
- ・ 発熱は見られないことが多いです。
- ・ 小児では、顔を真っ赤にして立て続けに咳をした後、最後にヒューと音を立てて息を吸い込む咳の発作が特徴的です(痙咳)。
- ・ 成人では典型的な発作性の咳は出ないことが多いです。

3. 以下のような症状があったら、本学保健センター又は医療機関を受診し、診断と治療を受けてください。

- ・ 一週間以上咳が続き、しかも増強してくる。
- ・ 家族や友人に同じような症状の者がいた。

4. 百日咳と診断されたら

- ・ 大学(本学保健センター、所属学部事務室)に連絡し、自宅待機してください。
- ・ 学校保健安全法により「特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで」と出席停止期間が定められています。
- ・ 登校(出勤)する前に本学保健センター又は医療機関を受診し、登校(出勤)の可否につき診断してもらってください。

5. その他の注意事項

- ・ 過去にワクチン接種が不十分な方は、追加接種を推奨します。
- ・ 特に乳幼児に感染させると重症化することがありますので、家族に乳幼児がおられる方や接種する可能性のある方は、注意が必要です。

お問い合わせは各キャンパス保健センターまで

戸畑:093-884-3065

E-mail:hok-hoken@jimu.kyutech.ac.jp

飯塚:0948-29-7513

E-mail:hok-jhohoken@jimu.kyutech.ac.jp

若松:093-695-6017

E-mail:hok-sehoken@jimu.kyutech.ac.jp